

2023年度 こども発達学科ガイダンス(1年次用)

1. 教養科目 ★2年次までに卒業必要単位(24単位以上)を取得しておくことが目安です。

(1) 履修することが望ましい科目について

以下の科目は、大学で学ぶうえで必要な基礎的技術を身につけるために有益な科目であるため、履修することが望ましいです。

「英語ⅠA」「英語ⅡA」「英語ⅠB」「英語ⅡB」
「コンピュータ基礎A」「コンピュータ基礎B」「論述・作文A」「論述・作文B」

(2) 「英語ⅠA」「英語ⅡA」「英語ⅠB」「英語ⅡB」の履修方法

プレイスメントテストの結果をもとにクラス分けが行われています。

各自履修登録をする際に、クラス番号と教室を必ず確認してください。

「英語ⅠA」「英語ⅡA」→ **29組**
「英語ⅠB」「英語ⅡB」→ **38組、39組、40組のいずれか**

(3) 各種英語検定による単位認定制度について

本学入学前、入学後において英検・TOEFL・TOEIC (TOEIC-IP含む)を受検し、本学が定める級、得点に該当することを証明する公的な認定証を提出し手続きすることで単位を認定する制度があります。

認定を希望する場合は4月3日(月)～7日(金) 16:40に教育支援課にお越しください。

(履修登録マニュアルP8参照)

(4) 教養科目のクラス指定について

教養科目のうち、以下の科目は履修クラスが指定されているので注意してください。

履修の際は、以下の時間の講義を履修してください。

「英語ⅠA」「英語ⅡA」・・・金曜日1講時
「英語ⅠB」「英語ⅡB」・・・木曜日2講時
「コンピュータ基礎A」「コンピュータ基礎B」・・・火曜日2講時
「論述・作文A」「論述・作文B」・・・月曜日1講時
「スポーツA」「スポーツB」・・・**金曜日2講時**を履修すること。

(5) 「日本国憲法」の履修登録について

「日本国憲法」は抽選科目ですが、教職必修科目であることから、本学科生に限って予め大学側で以下のとおり履修登録を行っています。そのため、履修登録の必要はない、または本科目の履修を希望しない学生は、4月7日(金) 16:40までに、教育支援課にて履修登録の取り消しを申し出ること。

4月8日(土) 14:00以降に、情報ポータル画面から「日本国憲法」が削除されていることを確認すること。4月8日(土) 14:00以降、別科目の追加履修(2単位分)が可能になります。

「日本国憲法(2)」後期火曜日1講時

(6) 教養科目と自由選択科目について

大学全体で「教養科目」とされている科目と、こども発達学科の卒業要件の「教養科目」は必ずしも一致しません。大学全体で「教養科目」とされている科目で、こども発達学科開講科目一覧の「教養科目」

欄に記載のない科目は「自由選択科目」となるので注意すること。

2. 専門科目

「子ども発達学基礎ゼミナール」の履修について

すでにクラスが指定されているので履修登録の必要はありません。情報ポータル画面で確認すること。

3. その他

(1) テキストについて

教科書リストに講義で使用するテキストすべてが載っていない可能性があるため、シラバスの「テキスト」を確認してください。

☆シラバス…教員が学生に示す授業計画のこと。どの回でどんな内容を行うか、どんな学習が必要か、評価の方法、必要な教科書等が載っています。授業内容はもちろん、評価方法等も講義によって違うので注意！

(2) 「抽選科目」の全般的な注意点（補足）

大学での履修登録の方法は主に以下の3種類があります。

- ① すでに大学側で登録している科目（基礎ゼミナール、日本国憲法）
- ② 抽選外科目（PCで履修登録すれば全員が履修できる科目）
- ③ 抽選科目

このうち、③抽選科目は、履修人数に上限があり、これを超えて登録があった場合は「コンピュータによる抽選」で履修者が決定されます。「コンピュータによる抽選」は「前期開講科目」と「後期開講科目」とで扱いが異なります。

「前期開講科目」→4月の前期履修登録期間中に履修登録が完了

「後期開講科目」→9月の後期履修登録期間中に履修登録が完了

したがって、「後期開講科目」は、履修登録上限の人数を超えていても前期履修登録期間中は履修希望者全員が登録されたままになっており、情報ポータル上に科目は表示されてはいるが、本登録されたわけではないので注意が必要です。

4. 教職課程履修希望者へ

(1) 教職課程登録について

「小学校教職課程科目」を履修するためには、教職課程登録が必要です。

4月3日（月）～4月13日（木）までに、教育支援課前の自動発行機で、教職課程授業料（授業料20,000円）を納入すること。自動発行機から「教職課程受講願」が出力されるので、必要事項を記入し、同日に、教育支援課教職課程へ提出すること。出身校名は必ず正式名称で書いてください。

★教職課程登録をしないと履修登録上に現れない科目があります。

4月7日（金）までに教職課程登録をした方は4月8日（土）14:00、

4月13日（木）に教職課程登録をした方は4月14日（金）19:00から履修登録ができるようになります。余裕をもって行いましょう！

(2) 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の履修希望者へ

「音楽Ⅰ」(前期)、「音楽Ⅱ」(後期)は3クラス開講し、各クラスに履修人数制限を設けます(人数は下記)。苦手な学生は履修することが望ましいです。

履修登録方法は、情報ポータルにて希望するクラスを登録します。ただし履修人数制限があるので、履修者は抽選により決定されます。抽選が行われる前に履修登録をする必要があるので、履修を希望する場合には4月7日(金)までに教職課程登録をしてください。抽選後になると、履修できるクラスがなくなっていたり選べなくなったりする可能性があります。

音楽Ⅰ(前期)

4月14日(金)19:00以降に情報ポータル画面の科目名が「青字」になっていれば登録完了、科目名が消えていれば落選したことを意味します。「青字」になった場合に、科目を取り消すことはできません。また落選した場合は、あらためて別のクラスを選択する必要があります。

音楽Ⅱ(後期)

後期抽選科目のため、抽選を9月の後期履修登録期間に行います。したがって、前期履修登録期間中は履修登録上限の人数を超えていても履修希望者全員が登録されたままとなっており、情報ポータル上に科目は表示されてはいるが、本登録されたわけではないので注意してください。

「音楽Ⅰ・Ⅱ(1)」 月曜日3講時(18名)

「音楽Ⅰ・Ⅱ(2)」 月曜日5講時(18名)

「音楽Ⅰ・Ⅱ(3)」 金曜日5講時(18名)

「音楽Ⅱ」は後期の抽選科目なので、3.(2)を参照のこと。

★抽選が確定するまでの「音楽Ⅰ」の受講について-----

① あらかじめ、情報ポータルで仮クラスをお知らせします。

皆さんはできるだけ仮クラスに出席するようにしてください。

予定があり難しい場合には他のクラスで出ても構いません。

② ■仮クラスが(1)または(2)だった方

→初回(4月10日)は仮クラスに出席する。

4月14日に確定クラスを見て当選していた場合は、2回目からそのクラスに出席する。

落選していた場合は、空きのあるクラスを履修登録し出席する。

4月18日にそのクラスの当選を確認する。

■仮クラスが(3)だった方

→初回(4月10日)と2回目(4月13日)は仮クラスに出席する。

4月14日に確定クラスを見て(1)または(2)で当選していた場合は、4月16日の授業は出席しなくてもよい(すでに2回目に出席しているため。万が一13日に欠席した場合には14日に出席すること)。

落選していた場合は、空きのあるクラスを履修登録する。

○どのクラスであっても第1回目、第2回目・・・と出席することと、履修登録をしっかりと行うことがポイントです。わからなくなったら鈴木か栞谷先生にご相談ください。

(3) 「子どもの体育Ⅰ」「子どもの体育Ⅱ」の履修希望者へ

第2キャンパスで行います。ジャージに着替えて授業を受けること(上靴も必要)。

5. 特別支援学校教員免許取得希望者へ

(1) 手続き

特別支援学校教諭の教職課程を履修したい方は、4.(1)の教職課程受講手続きの際に、必ず履修希望欄の「小学校教職課程」とあわせて「特別支援教職課程」にも○印を付けてください。

(2) 履修について

特別支援学校教員免許状を取得するためには、「特別支援教育実習」を3年次ないし4年次に履修しなければなりません。「特別支援学校教育実習」の履修基準は以下の通りです。

<3年次履修基準>

「特別支援教育実習」は原則として3年次に履修します。3年次履修にあたって、2年次終了までに次に定める履修基準を満たさなければなりません。この基準に基づき、教職課程委員会で審査します。必要に応じて面接を行う場合もあります。

- ① 教養科目の卒業要件を満たすこと。
- ② 卒業に必要な総単位を70単位以上修得していること。
- ③ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を修得していること。
(「日本国憲法」2単位、「スポーツA」及び「スポーツB」各1単位、「英語ⅠB」及び「英語ⅡB」各1単位、「コンピュータ基礎A」又は「コンピュータ基礎B」2単位)
- ④ 「特別支援教育に関する科目」について、「特別支援教育総論」を修得し、「知的障害者の心理学」「知的障害者の生理・病理」「肢体不自由者の心理・生理・病理」「病弱者の心理・生理・病理」の4科目のうち2科目以上を修得し、「知的障害教育Ⅰ」「知的障害教育Ⅱ」「肢体不自由教育Ⅰ」「肢体不自由教育Ⅱ」「病弱教育」の5科目のうち2科目以上を修得していること。
- ⑤ 教育の基礎的理解に関する科目等については、14単位以上修得していること。
- ⑥ 教職に就く意思があり、実習にふさわしい資質と能力を備え、実習する意欲があり、事前準備にしっかりと取り組んでいること。
(事前指導における模擬授業や指導案作成等を含む。)
- ⑦ 教員採用候補者選考検査を受検すること。

<4年次履修基準>

「特別支援教育実習」の4年次履修にあたって、3年次終了までに次に定める履修基準を満たさなければなりません。この基準に基づき、教職課程委員会で審査します。必要に応じて面接を行う場合もあります。

- ① 「教育実習」(小学校、中学校、高等学校)の履修基準を満たし、4年次の「教育実習」を履修できること。
- ② 「特別支援教育に関する科目」について、「特別支援教育実習」以外の必修科目を全て修得していること。

(3) 北海道内の特別支援学校での実習を希望する者については、教職課程委員会で実習校を決定する。受入れ人数の関係上、全員に割当てがあるとは限らない(20名程度を目安)。北海道外の特別支援学校での実習を希望する者は、自己開拓による。詳細は、「特別支援学校教職ガイダンス」で説明される。

6. 中学校教諭一種免許状（社会）、中学校教諭一種免許状（英語）の免許取得について

他学科教員免許履修制度により、上記の免許の取得を可能とする予定です。ただし、時間割の重複の可能性もあるので、4年間での取得は保障していません。また、小学校一種免許状取得を取得できなければ取得ができないので注意してください。2年次からの履修となり、募集枠がそれぞれ5名程度のため1年次2月に選考を行います。詳細は情報ポータルもしくは掲示板等で告知（昨年は11月中旬に告知）されるガイダンスに参加して確認してください。

7. 保育士資格取得希望者へ

保育士の資格取得を希望する者は、以下の手順にしたがって履修登録を行ってください。

- ① 「保育士養成カリキュラム受講願」を4月6日（木）16：40までに教育支援課こども発達学科へ提出してください。
- ② 第一回登録発表日の4月14日（金）19：00以降に、履修登録した科目が「青字」になっていることを確認してください。「青字」になった場合は、科目を取り消すことはできません。

8. 社会教育主事（社会教育士）取得希望者へ

社会教育主事（社会教育士）取得を希望する者は、4月3日（月）～4月13日（木）までに、教育支援課前の自動発行機で、社会教育主事（社会教育士）課程授業料10,000円を納入すること。自動発行機から「教職課程受講願」が出力されるので、必要事項を記入し、同日に、教育支援課社会教育主事（社会教育士）課程へ提出すること。

1年次配当の必修科目は、「生涯学習概論A」「生涯学習概論B」「生涯学習支援論A」「生涯学習支援論B」「社会教育経営論A」「社会教育経営論B」（2年次以降でも履修可能）。

9. 他資格課程との併行履修について

学芸員課程、社会教育主事任用資格課程、特別支援学校教員免許状、中学英語教員免許状、中学社会教員免許等、他の資格課程との併行履修を希望する学生は、時間割の都合上、4年間の在学期間内で全ての資格が取得できるとは限らないので、卒業後の履修（科目等履修生）をも視野に入れて取り組むこと。

10. その他連絡

・履修要項、時間割、情報ポータル、資料を見ても分からないことのある場合には、教育支援課 鈴木まで相談してください。

■教育支援課窓口■ 3号館1階

月・水・木・金 9：00～11：20／12：20～16：40

火 9：00～11：20／12：20～15：00

土 9：00～11：40（鈴木不在の週あり）

■履修登録に関する問い合わせ■

教育支援課 鈴木

電話：011-386-8111（受付の方が出ます。鈴木を呼んでください）

メール：suzukina@ims.sgu.ac.jp（お返事に数日いただくこともあります）

1. こども発達学科の科目一覧表

(2023年度入学生に適用)

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件		
教養科目	基礎科目群	英語ⅠA・英語ⅡA 英語ⅠB・英語ⅡB	英語ⅢA・英語ⅣA 英語ⅢB・英語ⅣB		24単位以上 ※1 ※2		
		コンピュータ基礎A コンピュータ基礎B 論述・作文A 論述・作文B					
	人文・社会・健康・自然科目群	日本史 世界の音楽 東洋の美術 ヨーロッパの美術 日本文学 日本国憲法 教育学 現代の福祉 心理学 健康科学 心理学概説 地学 地球の科学 生命科学					
		スポーツA スポーツB					
地域連携科目群	地域貢献A 地域貢献B 地域貢献C 地域貢献D 地域貢献活動A 地域貢献活動B 地域貢献活動C 地域貢献活動D						
専門科目	心理・発達	発達心理学A 発達心理学B (子どもの発達と文化) (自然環境と子ども) 保育の心理学 子どもの理解と援助			68単位以上 ※1 ※3		
		教育心理学A 教育心理学B (コミュニケーションと子ども発達) 子どもの発達と栄養 (子どもの発達と芸術)					
		社会心理学A 社会心理学B					
		子ども論特殊講義					
	社会・福祉・教育		教職基礎演習 情報通信技術の活用	社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ (社会教育実習を含む) 特別支援教育論(小)			
			社会福祉論A 社会福祉論B 教職入門(小) 教育相談(小) (子どもの発達と教育) (子どもの権利と教育) 生涯学習概論A 生涯学習概論B 生涯学習支援論A 生涯学習支援論B			教職実践演習(小)	
			教育学概論(小) 道徳の理論と指導法(小) 特別活動の指導法 社会的養護 生徒指導・進路指導論 子ども家庭支援論 総合的な学習の時間の指導法 社会教育経営論A 社会教育経営論B				
			児童福祉論 (児童福祉特論) 障害者福祉論 教育社会学 家族社会学 教育方法・技術論(小) 算数科指導法 理科指導法 社会科指導法 生活科指導法 図画工作科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 小学校英語指導法 地域連携マネジメント				
			健康教育概論				
			教育課程論(小) 教職特別演習 国語科指導法 音楽科指導法 介護等体験 学校経営論(小)				
	保育		保育原理 保育者論	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ		保育実践演習	
			子ども家庭支援の心理学 保育内容総論				
			保育内容の理解と方法Ⅰ 《身体表現》				
		保育内容の理解と方法Ⅱ 《音楽表現》 《造形表現》 保育内容A(健康と環境) 保育内容C(ことば・表現) 乳児保育 乳児保育演習 障害児保育演習 保育実習指導Ⅰ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB					
		保育内容B(コミュニケーション) 子どもの健康と安全 社会的養護内容 保育相談支援					
		保育の計画と評価					
	子どもの保健						
演習	子ども発達学基礎ゼミナールA 子ども発達学基礎ゼミナールB		専門ゼミナールA 専門ゼミナールB	卒業研究	12単位 必修		
自由選択科目	「教養科目」および「専門科目」の必要単位を超えて履修した単位 本学が開講するその他の教養科目で履修した単位 他学部・他学科の専門科目で履修した単位 学芸員設置科目 社会教育主事設置科目				20単位以上		
卒業要件合計					124 単位以上		

※1 教職課程履修者：太字の科目必修

※2 保育士の資格を取得しようとする者：下線の科目必修 この科目を含めた8単位以上修得。地域貢献A～Dはいずれかの科目を修得。

※3 保育士の資格を取得しようとする者：下線の科目必修 () の科目6単位以上修得 (《 》) の科目の履修を推奨)

<小学校教職課程履修者のみ対象>

小学校 教職課程科目	算数概説 理科概説 社会科概説 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 家庭科概説 子どもの体育Ⅰ 子どもの体育Ⅱ	国語概説Ⅰ 国語概説Ⅱ 生活科概説	教育実習他 10単位以上
	図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 子どもの英語		

(8) 特別支援教育（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）に関する科目

(2023 年度入学生適用)

特別支援学校教諭一種免許状を取得するためには、基礎資格(学士の学位を有し、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状、又は高等学校教諭一種免許状を有する。)を満たし、下記の特別支援教育に関する科目の必要単位を修得することが必要です。

[表 8]

○は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数	配当学年	授業科目の開講学部等
特別支援教育に関する科目区分	単位数				
特別支援教育の基礎理論に関する科目		○特別支援教育総論	2	1	人間科学科
特別支援教育領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害者の心理学	2	2	人間科学科
		○知的障害者の生理・病理	2	2	人間科学科
		○肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2	人間科学科
		○病弱者の心理・生理・病理	2	2	人間科学科
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害教育Ⅰ	2	2	人間科学科
		○知的障害教育Ⅱ	2	2	人間科学科
		○肢体不自由教育Ⅰ	2	2	人間科学科
		○肢体不自由教育Ⅱ	2	2	人間科学科
		○病弱教育	2	2	人間科学科
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○視覚障害教育総論	2	2
○聴覚障害教育総論			2	2	人間科学科
○重複障害教育総論			2	3	人間科学科
○言語障害教育論			2	2	人間科学科
○発達障害教育論			2	1	人間科学科
特別支援教育各論Ⅰ（コーディネーター論）			2	3	人間科学科
特別支援教育各論Ⅱ（IEP論）			2	3	人間科学科
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	○特別支援教育実習	3	3	人間科学科	
法定単位数	26	本学における必要単位数	33		

注) 上記「特別支援教育に関する科目」は、いずれも人文学部人間科学科開設の科目です。